

180
2012.4.16

やいはは

議会だよ

サクラサク!!
(不来方高校合格発表)

3月議会で決めたこと
一般会計当初予算92億4580万円・・・2

予算審査特別委員会報告
平成24年度予算の内容は 4

一般質問 施策を問う
どうなる、盛岡市との合併問題 一般質問9議員・・・10

議会からのお知らせ
旧矢巾中学校跡地の有効利用について継続調査・・・19

一般会計当初予算額92億4580万円

矢幅駅周辺土地区画整理事業は17億7600万円

3月定例会は2月27日から3月19日までの会期で開催され、報告1議案、発議案1議案、人事案件3議案、条例制定・改正12議案、町道路線の認定・廃止2議案、補正予算8議案、新年度予算8議案を審議し、すべて可決しました。予算審査は予算審査特別委員会を設置して審査(4〜9ページに掲載)され、本会議においてすべての会計で可決されました。

補正予算はすべての会計で計上され、一般会計補正予算は防災行政デジタル無線整備事業1億3402万円の増など1億939万円の増を追加し、総額110億8422万円余となりました。

一般質問は9人が登壇(10〜18ページに掲載)し、盛岡市との合併問題や放射能安全対策など28項目について考えをいただきました。

主な内容は次のとおりです。

防災行政デジタル無線整備事業1億3402万円

人事案件

人権擁護委員を推薦

今野 文子さん(新)
(下北行政区)

門田 勝利さん(再)
(高田2区)

坂本 信行さん(再)
(白沢行政区)

村松 とも子さん
(広宮沢1区)

発議案

農業委員を推薦

一般会計補正予算

主な歳入

▽東日本大震災津波復興基金市町村交付金 3277万円

▽防災通信施設整備事業債 1億1210万円

主な歳出

▼消防施設整備事業の増 473万円

▼防災行政デジタル無線整備事業 1億3402万円



みなさんからの請願

道路拡幅についての請願

問野々自治会 会長 吉田 功

全員賛成

採択

審査意見

請願路線である町道下猪去線は、紫波町との町界に位置する有効幅員3・6m、延長260mの路線である。この路線は紫波町古館ニュータウンからの往来も年々増加し、今後岩手医科大学の移転によりますます交通量の増加が見込まれる。現状では車同士ですれ違う際は脱輪するおそれがある。緊急車両の通行にも支障をきたし、防災と町民の安全確保の観点から道路拡幅、改良が必要である。

各議案の採決状況

平成23年第7回臨時会(12月)

議案番号	提出議案	議員名														採決結果				
		齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上 哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆 秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子		米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	
議案第105号	平成23年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成24年第1回定例会(3月)

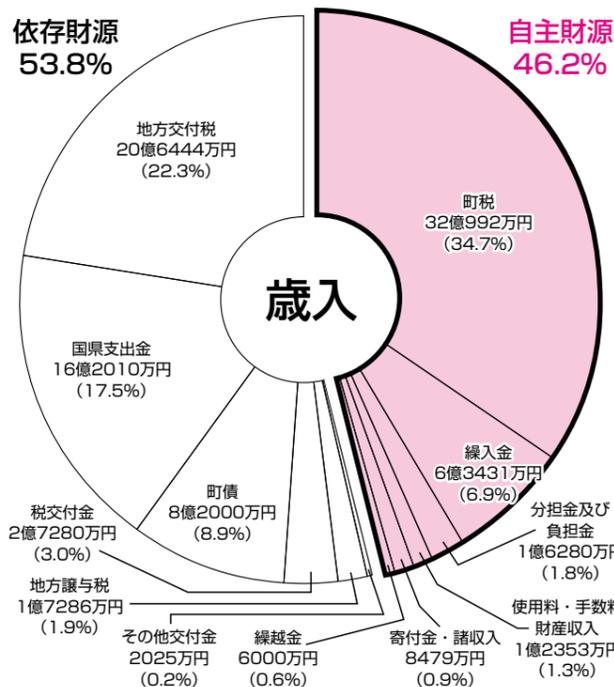
議案番号	提出議案	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上 哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆 秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果
議案第1号	町東日本大震災復興基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	町立公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	町総合グラウンド設置及び管理等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	町立都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	町コミュニティ施設に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	町道路占用料に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	町水路条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第16号	平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	平成24年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	平成24年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	平成24年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	平成24年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	平成24年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	平成24年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	平成24年度水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	平成23年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	平成23年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	平成23年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案第1号	町農業委員会委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注：藤原議長は採決に加わらない。

平成24年度

予算の概要

入るお金



財源区分	名称	解説
自主財源 (権限で収入できる財源) (地方自治体が自らの)	町税	地方自治体が直接徴収する税。個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税など
	繰入金	基金繰入金は預金等を取り崩すもの
	繰越金	前年度の残金
	分担金及び負担金	特定のサービスを受益する者から徴収するもの。保育所運営費負担金など
	使用料・手数料・財産収入	使用料、財産収入は町の財産から得られるもの。手数料は諸証明交付手数料など
	寄付金・諸収入	諸収入はほかに分類されないもの。延滞金や電気使用料など
依存財源 (収入に依存する財源) (国・県など他からの)	地方交付税	一定の基準で算定した支出より収入が少ない場合に国から交付されるもの
	国県支出金	国や県からの補助金など
	町債	財務省や銀行などからの借入金
	税交付金	都道府県が徴収した税のうち、市町村に交付するもの
	地方譲与税	国が徴収した税のうち、地方公共団体に譲与するもの
	その他交付金	国策による減収や特定の経費に充てるために国から交付されるもの

2月27日の本会議において、議長を除く17名の議員で構成される予算審査特別委員会が設置され、すべての会計の24年度当初予算の審査が付託されました。

3月7日から審査が行われ、19日に審査報告書が議長に提出されました。

予算額は一般会計と下水道事業特別会計、そして水道事業会計の収益的収入及び支出において前年度より減となりましたが、そのほかの会計においては前年度より増となっています。

町の主要事業を行う一般会計予算額は、前年比11・3%減の92億4580万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、歳入は町税・地方交付税・県支出金などが増加したものの、国庫支出金・繰入金・町債などは減少しました。歳出においては総務費・商工費が前年比33・9%増の16億21万円余、公債費が23・1%増の1億5735万円余となりました。

工費・土木費・消防費などが増加したものの、議会費・衛生費・労働費・教育費などが減少しました。

これら予算額の大幅な落ち込みは矢巾中学校建設事業の減少によるもので、教育費は16億970万円余の減少となっています。

特別会計においては、矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計の伸びが最も大きく、前年比32・4%増の17億7665万円余となりました。

その内訳を前年度と比較すると、歳入は国庫支出金が34・9%増の6億6865万円、基金繰入金金が3901・1%増の2億5万円余、町債が前年比29・5%増の6億690万円余となりました。

歳出では土地区画整理事業費が前年比33・9%増の16億21万円余、公債費が23・1%増の1億5735万円余となりました。

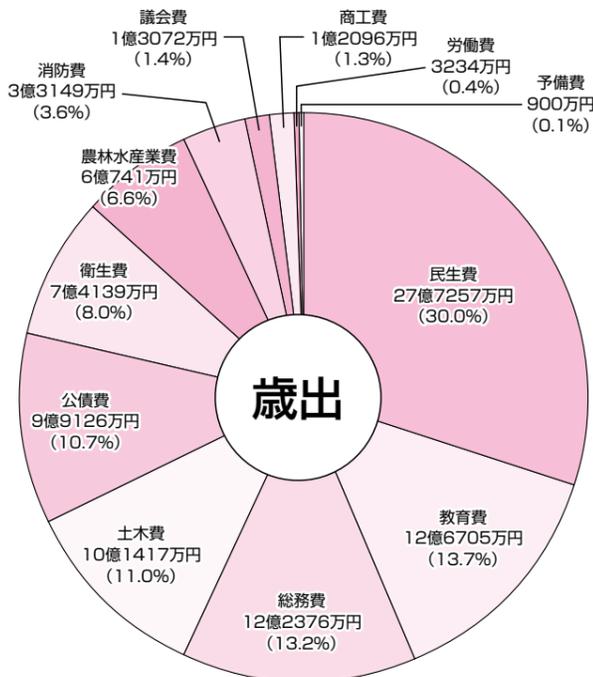
予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会報告

一般会計予算の内訳

使うお金

名称	解説
議会費	議会の活動に要する経費
総務費	一般的な管理事務、庁舎・財産等の維持管理のための経費
民生費	住民が一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費
衛生費	住民が健康にして衛生的な生活環境を保持するための経費
労働費	失業対策に必要な経費
農林水産業費	農業、林業、水産業に要する経費
商工費	商工業の振興、観光事業等の経費
土木費	道路や橋りょう、河川、都市計画、公営住宅などに要する経費
消防費	消火及び防災に要する経費
教育費	教育委員会、小・中学校、生涯学習等社会教育、スポーツ振興、保健体育などに要する経費
災害復旧費	災害によって生じた被害の復旧に要する経費
公債費	借入金(元金・利子)の返済に要する経費
予備費	予定外の支出などに対応するための経費



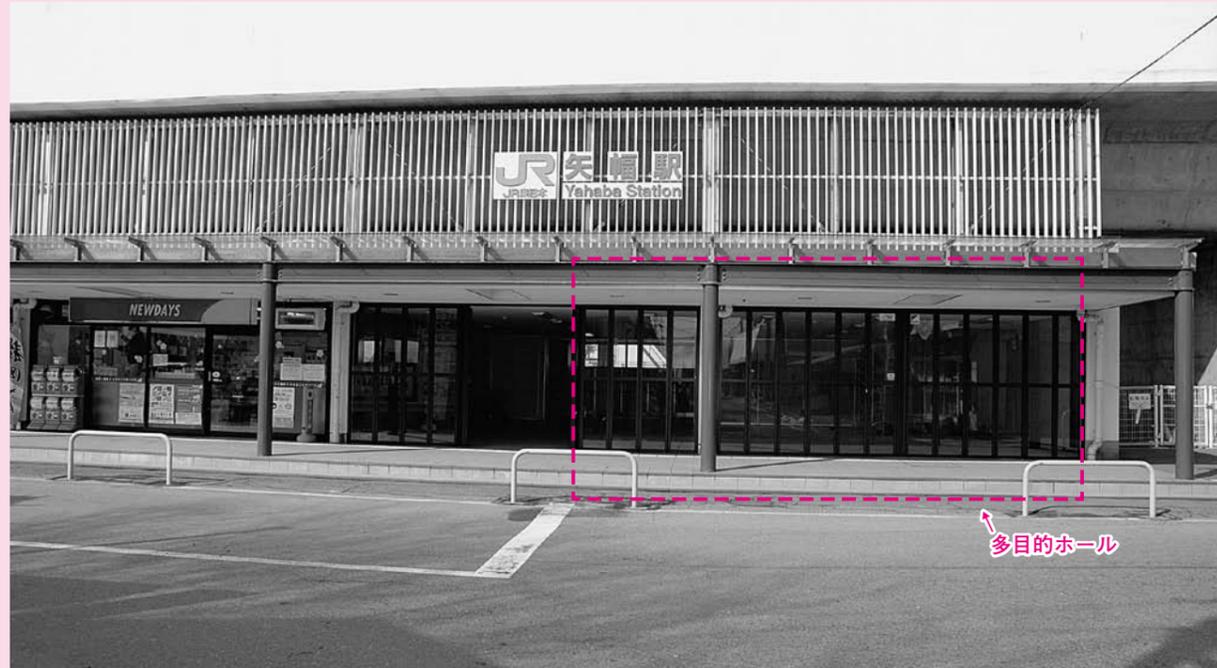
会計ごと当初予算額

会計名	24年度予算額	23年度予算額	対前年度増減額	増減率
一般会計	92億4580万円	104億2060万円	△11億7480万円	△11.3%
国民健康保険事業特別会計	23億1905万円	21億7923万円	1億3982万円	6.4%
介護保険事業特別会計	15億9626万円	14億1276万円	1億8350万円	13.0%
後期高齢者医療特別会計	1億4313万円	1億4198万円	115万円	0.8%
下水道事業特別会計	9億9570万円	11億6585万円	△1億7015万円	△14.6%
農業集落排水事業特別会計	3億2087万円	3億832万円	1255万円	4.1%
矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計	17億7666万円	13億4231万円	4億3435万円	32.4%
合計	163億9747万円	169億7105万円	△5億7358万円	△3.4%

企業会計	水道事業会計	収益的収入及び支出	5億5572万円	5億6639万円	△1067万円	△1.9%
		資本的収入及び支出	3億4226万円	3億4030万円	196万円	0.6%
	合計		8億9798万円	9億669万円	△871万円	△1.0%

予算審査

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会



多目的ホール

有効活用が望まれる矢幅駅多目的ホール

産業・建設

高橋 雪解けを迎え道路の痛みが目立つが、道路維持補修計画はどうなっているか。

道路都市課長 現在臨時職員3名で補修箇所を確認中で、今後、町内を3地区に分け、9月までに補修予定である。

小川 矢幅駅多目的ホールの使用実績が低いので、スペースを細分化して観光案内・学習スペース・産直などに有効活用してはどうか。

道路都市課長 2区画にすることは可能であり、実施できるか検討したい。

廣田 不動産センターの再構築が課題となっているが、町やJAが一丸となった支援が必要では。

農林課長 地域で検討後、町としても助成等を検討する。

福祉・環境

藤原(由) 矢巾斎苑の待合室・控室・受付場所が狭く混雑している。控室での遺族のプライバシー確保が必要ではな

住民課長 総合開発計画には計画はないが、今後検討していきたい。

川村(農) 汚水処理で浄化槽方式をとった経緯と今後の事業の見込みは。

上下水道課長 平成16年に立てた処理計画に基づいて、集合方式にふさわしくない178世帯を見込んでいます。

川村(よ) 一人暮らし世帯が増えているが、児童民生委員は今の人数で十分か。

生きがい推進課長 町独自で増やせないが、県の許可を得て増員している行政区もある。

特別委員会

(芦生健勝委員長、廣田光男副委員長)を設置して審議しました。

歳入

山崎 個人町民税について、7600万円余の増を見込んでいるが、その主な要因は。

税務課長 平成24年度から0歳16歳未満の扶養控除、16歳18歳までの特定扶養控除が廃止されたことによる増である。

川村(農) 本社が町外にある大型スーパーやコンビニ等でタバコを購入した場合でも、たばこ税は当町に収められるのか。

税務課長 町内でタバコを購入すれば、たばこ税は当町に収められる。

高橋 コンビニで支払いできる税金はあるか。

会計管理者 コンビニ支払いができるのは水道料金のみである。

総務

昆 さわやか号の更新に160万円ほど計上されているが、その内容は。

企画財政課長 約10年間使用した車両を更新する計画であり、委託先と相談し中古車の購入を予定している。

村松(信) 地域の防犯灯をLEDにした場合、アンペアダウンの手続きが必要で一箇所6000円の申請料を要する。町でまとめて申請できないか。

企画財政課長 内容について把握し、検討させていただきたい。

齊藤 消防団の各部における団員確保と安全対策は。

総務課長 自治会などを中心に取り組み、安全装備は補正予算で計画する。



万一に備え訓練に余念のない矢巾町消防団

予算審査特別委員会

教育・文化

村松(信) 不動学区・徳田学区の児童数が少なくなっているが、どう対処していくのか。

学務課長 新入学児童は徳田小28人・不動小30人である。平成32年度の徳田小移転に伴い、対策を検討していく。

村松(輝) 第71回国民体育大会の力強い競技は、町内の役員が多く関わる事から負担が大きいが、対策はあるか。

町長 カヌー協会の役員体制も含め、町外関係者も対応できないか検討する。

齊藤 徳丹城造営1200年のPRをドキュメンテーションキャンペーンと併せて行う。

社会教育課長 テレビCMを60回放映するとともに、テレビ放映用の記録番組制作を予算化している。



徳丹城造営1200年をアピールする「わたまるくん」

特別・水道

藤原(梅) 矢巾町の水道供給量は、医大附属病院が開業しても十分か。

上下水道課長 現在の稼働率は60%未満であり、医大附属病院が開業しても十分足りる。

小川 医療費及び国保税軽減のため、ジェネリック医薬品の推進に力を入れてはどうか。

住民課長 医療費通知の中に推進のチラシを同封しお知らせしているが、さらなる周知に努める。

廣田 矢幅駅前開発と矢巾西部地区の開発に格差があるが、どうとらえているか。

町長 第6次総合計画では駅前開発に力を入れている。均衡ある地域発展には役割分担があり、大きく目を開いて西部の方を見ていきたい。

審査報告

予算審査特別委員会委員長

芦生

健勝

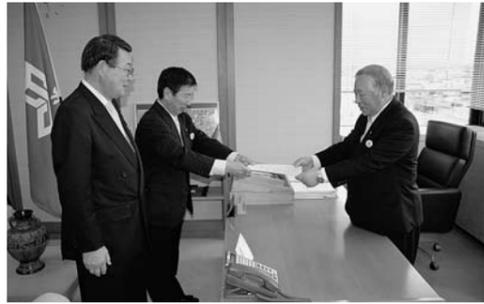
収入に見合った財政運営を

一般会計予算は矢巾中学校の移転改築工事終了により大幅な減となったが、今後の事業執行にあたっては、過大な借入に頼らず、収入に見合った財政運営を望む。

昨年の東日本大震災を踏まえ、自主防災組織の拡充と、防災体制の充実を図りたい。

土地利用において中村・藤沢地区が市街化区域に編入となる事から、医大関連の施設や住宅地の開発を進め本町の発展に寄与するよう望む。国民健康保険事業は、日本一健康なまちやばを指し、特定健診や特定健康指導の受診率向上に努められたい。

介護保険事業は、今後も給付費の増加が予想されるが、町・県の基金取り崩しにより



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

保険料月額額は、550円増の4800円に抑えられた。
矢幅駅前地区土地区画整理事業は重要な事業であり、順調な整備が進むよう期待する。
水道事業会計は老朽化配水管の更新や浄水場施設の維持管理に万全を期されたい。

福祉政策に期待

本町発展の積極的な予算編成であり、賛成する。
町税は企業誘致に総力をあげ、税収の確保を図りたい。教育については、本町の将来を担う人材育成の教育が効果を上げている。
町民の健康を守るため、各種健診の受診率向上を図ることとに力点を置いている福祉政策に期待する。

米倉 清志

暮らしを支える予算に

子どもの医療費窓口無料化や虐待・育児放棄に対する支援、介護予防事業の拡大・介護施設の充実・認知症対策など、国や県が予算化しなくても、町が予算執行する考えが必要だ。
また、農地の基盤整備中心の予算ではなく、農林業の再生や暮らしを支えるための事業予算を要求し反対する。

川村 よし子

開発よりエコな社会を

矢巾跡地は町民の声を聞き、共同の町づくりが求められる。矢幅駅前開発事業の総額107億円は一般会計予算総額を超える大型公共事業である。また、建設予定の複合施設は年間1億円の維持管理費を要し、町民の大きな負担になる。大型開発よりもっとエコな社会を目指すことを求め、24年度予算に反対する。

小川 文字

賛成

健全かつ積極型予算

抑えるところは抑え、伸ばすべきところは伸ばす健全かつ積極型予算であり賛成する。
長年の懸案であった矢幅駅前地区の土地区画整理事業が着工となり、今後、順調に工事が進むことを望む。
他に町道南昌トンネル線の県道昇格に向けての道路整備予算計上等、評価するものがある。

村松 輝夫

反対

討論



むらまつ てるお
村松 輝夫 議員

学園都市・文教都市宣言は

時期を見て宣言も必要



優秀な人材を輩出している県立産業技術短期大学校

質問 本町には町立の4小学校、2中学校に加えて県立不来方高校、県立産業技術短期大学校、岩手医科大学などがあり、町内小中学校を除き、約2700人が集う事実上の学園都市である。町内外に対して、「学園都

質問 岩手は雪国であり、そこには雪国ならではの文化や習慣、生活がある。スキーは豊かな自然の中で、自在に移動することができ、他では味わうことができない

学力向上を図るため

スキー教室 なぜ中止

質問 本町は保育園・幼稚園から大学まで人づくりをする教育環境が整い、教育の町、文教都市としての位置づけは確立されてきているものと感じている。私立中学校の誘致に向けて龍澤学館と協議を進めており、さらなる教育施設の集積が図られた時には、「学園都市・文教都市」の宣言も必要と考

市・文教都市」を宣言するつもりはないか伺う。

答弁 本町は保育園・幼稚園から大学まで人づくりをする教育環境が整い、教育の町、文教都市としての位置づけは確立されてきているものと感じている。私立中学校の誘致に向けて龍澤学館と協議を進めており、さらなる教育施設の集積が図られた時には、「学園都市・文教都市」の宣言も必要と考

盛岡市との合併は

現時点では考えていない



矢巾町側の完成から10年経過しても盛岡市側は…



ふじわら よしみ
藤原 由巳 議員

質問 谷藤盛岡市長は昨年の市議会一般質問での答弁で、「当面は矢巾町が合併を考慮の上で一番近い存在」との考えを示したとの報道があった。町長は、平成17年度に「民意を尊重して自立の道を決断」と表明以降、合併問題は盛岡

広域市町村での合併が望ましいとの発言をしているが、今後の合併問題にどう対処していく考えか。

答弁 以前から一貫して説明しているとおり、民意を尊重し合併せず自立していくことに変わりない。今後の合併問題への対処は、町政を取り巻く状況が変わったら再び町民の判断をいただく。広域的市町村合併が望ましいと考えるが、今すぐは難しい。当面は合併しなくても様々な課題は解決できると考えている。

耕作放棄地 調査は 現地調査で把握

質問 農業振興策・農業委員会活動について、以下伺う。
①「地域農業マスタープラン」の作成について。

答弁 プランは地域の抱える問題を解決するために方向性を定めるものであり、既存組織の統合なども検討しながら作成をお願いしていく。
②2005年の調査を基本にしているため、影響はない。
③耕作放棄地とする調査対象や統計調査上の定義に違いがあり、数値の比較はできない。
④所有権移転の伴う処理は、3年で4件。通常の委員会あつせんの申し出は53件で、成立は10件となっている。
⑤農業者と商工業者との協働関係の特産品開発に期待する。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員

被災者生活支援バンクを

民間での支援を望む



釜石市の仮設住宅

質問 仮称被災者生活用品支援バンクを設置し、誰もが参加できる支援をする考えは。

答弁 自治体が行うには、生活用品支援の緊急性がなく、すでに民間において同様の支援ができるインターネットサ

優秀な人材の採用戦略は

即戦力の人材確保



やがみ さとし
谷上 哲 議員



期待される平成24年度の新採用職員

質問 官民を問わず中心的役割を担うのは「人」である。人材の確保が重要課題と思うが、人事政策について次の点を伺う。
①職員採用に関し、どのような採用戦略・試験戦略を取られているのか。

答弁 ①各種教育機関へ広く募集を行い、技術系の専門職は、民間等から即戦力となる人材を確保できるよう努めている。採用試験は、一次として筆記試験、二次として口述試験を実施している。
②研修計画に沿う定期的な研修や、希望する職員の専門研修を実施している。
③職員を適材適所に配置する人事異動を行うことにより組織の活性化を図っている。今後は、人事評価を人事異動に反映させていきたい。
④10年間で職員を215人から185人まで削減し、歳出の抑制、事務事業の見直し等の効率化を図ってきているが、今後も適正な定員管理に努めていく。

質問 平成24年度予算を問う。
①重点的な取り組みは。
②公共施設整備等の投資的経費に係る財政面の課題は。
③未利用の土地、建物の有効活用策は。

答弁 ①矢幅駅前地区土地区画整理事業を優先し、少子化対策として私立保育園・認定こども園に補助金を交付する。
②起債の発行を抑制し、基金からの繰り入れにより財源を確保した。
③土地は売却・賃貸借・コミニティ活動等に対する無償貸付けを進める。建物は旧矢中中・旧役場庁舎などで、利用されていないものは撤去・

新年度予算の重点は

駅前開発が優先

質問 自然と調和のとれた活性化策として2点を伺う。
①ロードレースを仮称やはば南昌ハーフマラソンに格上げしてはどうか。
②大白沢地区に小水力発電を設置し、再生可能エネルギーの地産地消のシンボルとしてどうか。

答弁 ①西部地区の道路事情等からコースの設定や安全面を確保することは難しい。
②費用対効果を含め、技術開発の動向を見ながら調査・研究を進める。

重度障がい児への支援は共に生き 自立を支える

質問 重度障がい児への支援について伺う。
①受給者証発行の審査方法と発行状況について。
②小学校入学の際に行われる就学児検診の方法について。

答弁 ①児童の療育の必要性や障害の程度を審査した上で支給量を決定し、受給者証を発行しており、25人が受給している。
②毎年5月に保育園・幼稚園・生きがい推進課と連携して予備調査を行ない、9月には教育相談を行っている。なお、重度障がい児の保護者については、さらに個別に対応し教育相談を行っている。

その他の質問
◇通学路の整備について

譲渡・貸借する計画である。

西部地域に小水力発電を

動向を見ながら調査・研究

その他の質問
◇地域防災のあり方について



こん 昆 秀一 議員

エコマネーへの取り組み

全国の動向を注視



西和賀町で使われていた地域通貨「わらび」

質問 エコマネーとは、ボランティア的要素の強いサービ
スや物の交換を助ける地域限
定の通貨である。
このエコマネーは社会的資
源の整備に有効であると思
うが、考えを伺う。

答弁 業務システムの保守管
理は民間事業者へ委託してお
り、IT専門の職員採用は実
施していない。
情報開示は速やかにいい、

放射能安全対策は

放射性物質検査を実施



かわむら 川村 よし子 議員



大槌町から搬入処理されるガレキ

質問 町民が希望すれば食物
の放射線量を測定できる体制
と、盛岡・紫波地区環境施設
組合でガレキ処理時放射性物
質を減らす検討はしているか。
答弁 給食食材・農畜産物及
び土壌・食の安全に関する依

頼物を対象に4月から食物の
放射性物質検査を実施する。
大槌のガレキ受け入れは、
現地と組合搬入時に放射線量
を測定し、暫定基準値以下で
あるか確認している。

水道料金の 引き下げを

自主財源による 引き下げは困難

質問 水道料金について伺う。
①有価証券や定期預金の取り
崩しと利息を利用して、水道
使用料の引き下げをしては。
②家庭用従量料金の1m単価
の引き下げや、使用水量を細
分化し5m以下の単価設定
ができないか。

答弁 ①安全・安心かつ持続的な水
道事業の運営のために、引き
下げは困難である。
②料金のバランスを変更する

形になるため、単価改定は考
えていない。
**短期証の交付
中止しては
交付中止は考えず**

質問 ①社会福祉協議会や県、医療
機関へ、国保税の滞納や医療
費に関する相談件数を伺う。
②短期被保険者証を受けに来
ない世帯は何件あるか。また
交付の中止を検討すべきでは。

答弁 ①社会福祉協議会へ国保税関
係は1件、医療費支払い関係
は18件、医療機関への相談件
数は把握していない。
②2月末現在19件。短期証の
更新は納税相談の機会であり、
交付中止は考えていない。

その他の質問
◇高齢化社会について

町民に有効利用してもらうよ
う、前向きに検討していく。

町職員の 接遇マナー

さらに指導・ 研修に努める

質問 本町の職員に対する接
遇マナーについての指導・教
育はどのように行われている
のか。
町民からの苦情などには、
どのように対応しているのか。

答弁 日頃から訓示・指導・
研修等、管理職なども含め接
遇マナーの習得に努めている。
町民からの苦情は対策を講
じ、全庁的に指導しているほ
か、町広報紙にも苦情の回答
を随時掲載している。

その他の質問
◇障がい者の社会的雇用制
度について

一般質問 施策を問う

一般質問 施策を問う



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 議員

幼保一体化の課題は

保育環境の充実に努める



矢巾中央幼稚園と園児たち

質問 今後の保育の方向性と課題について以下伺う。
① 煙山保育園の定員変更は、経験豊かな保育士の育成をどう進めるのか。
③ 増加傾向にある3歳未満児保育ニーズにどう応えるのか。
④ 仮称矢幅駅西口保育園・仮

称矢巾認定子ども園の概要は。
答弁
① 180名の定員で変更なし。
② 町内全ての保育所の園長と保育士が、公立私立の枠を超えて矢巾町保育協議会を設置し、研修会を開催している。
③ 保育所などの拡充を支援し、保護者の期待に応える。
④ 仮称矢幅駅西口保育園の定員は90名で、延長保育・一時保育・休日保育・病後児保育などを予定している。
仮称矢巾認定子ども園は矢巾中央幼稚園に幼保連携型の保育所として、3歳未満児を対象に定員20名の創設を計画している。

矢巾跡地利用に町民の声を改めて聞く機会を持たない
質問 矢巾中学校跡地利用について以下伺う。

① 町民の共有財産である跡地の活用について、町民の声を聞く考えはないか。
② 旧校舎使用に関する確約書を取り交わすことを、町民にどう説明するのか。
③ 龍澤学館に貸した場合、半永久的に使用されると思われることから、将来の子ども達のために残しておくべきでは。
答弁
① 龍澤学館に貸す方向だが、議員・建設委員会に説明しており、改めて町民の声を聞く機会は持たない。
② 龍澤学館が旧校舎を再利用する際に、町が文科省に取壊し免除申請する必要があるため、町に提出するものである。
③ 跡地は、教育施設として有効利用するのが最も望ましい活用方法と考えている。

その他の質問
◇ 駅前複合施設内の図書室構想について
◇ 徳丹城築城1200年の取り組みについて



やまざき みちお 議員
山崎 道夫 議員

本町での省エネ対策は

国の補助を考慮し検討



LED街路灯(紫波中央駅付近)

質問 県の復興計画では防災拠点等再生エネルギー導入事業が計画され、防災拠点に再生可能エネルギー整備補助を行うとしているが、本町の要望内容は、また、役場庁舎の照明をLEDに交換してはどうか。

答弁 本町では地域防災計画の避難所になっている10施設に太陽光発電とLED照明の付帯設備の設置を要望している。また、公園など82か所には太陽光・蓄電池併設LED照明の設置を要望している。庁舎の照明はLEDへの交換を検討しているが、費用が高くなるので、費用が今後、国の補助制度も考慮しながら修復計画で検討する。

教職員の勤務改善を

状況を把握し対応

質問 教職員は多忙化やストレスなどが原因で長期休業する傾向にあり、多忙化解消が課題になっている。本町における学校現場の勤務条件等について、以下伺う。
① 教職員の長期休業状況とその対策は。
② 教職員の多忙化の要因と解

消の取り組みは。
③ 労働安全衛生委員会を設置しては。
④ 健康診断の結果から、適切な助言や配慮を行う体制は。
⑤ 教職員に対してのメンタルヘルス対策はどのように行われているか。
答弁
① 長期休業中の職員3人で、うち2人は身体的な病気、1人は精神疾患である。長期休業者が出た場合は県教委にお願いして講師を配属している。
② 職員の健康と福祉向上を図る「県費負担教職員への変形労働時間制」を平成24年度から市町村教育委員会でも導入できることから、本町でも対応を準備している。
③ 現段階では労働安全衛生委員会の設置は考えていない。
④ 現在は行っていないが、今後は体制を確立したい。
⑤ 学校長会議で指導し、教育委員会の職員が教職員の状況を把握するよう努めてきた。また、メンタルヘルスセミナーへの参加も促している。

一般質問 施策を問う



ふじわら 藤原 うめあき 梅昭 議員

自給率100%維持へ

次世代に引き継ぐ農業で



しっかり育てる担い手

質問 本町の食料自給率は100%以上で、これを守り、豊かな自然を次世代に引き継ぐためにも、担い手をしっかりと育てるための決意は。

答弁 次世代に引き継ぐやば型農業を基本理念に、農業

基盤の整備、農地・水環境保全向上対策、機械導入事業、集落営農応援事業に取り組む。

震災後の本町の対応は

ガレキ処理を開始

害が深刻で、原木の調達や放射能検査の公表を進め、安全安心の情報発信を行う。
③放射能測定器3台を3月末までに購入し、農林畜産物用として矢巾地域営農センターに1台を、給食のサンプル検査用として共同調理場と煙山保育園に各1台を配置する。
④2月27日から大槌町のガレキを受け入れており、26年3月まで1日当たり11・3トン、計8300トン进行处理する。

質問 震災後の対応を問う。
①最新の被災地支援と被災者の受け入れ状況は。
②放射能汚染による農家、農畜産物に対する対応は。
③農畜産物の出荷と学校給食への対応は。
④被災地のガレキ処理の受け入れは。

武道の必修化

安全に配慮し指導

質問 中学校では男女とも4月から柔道が必修になる。部活動で死亡率が高く、安全に指導することは最優先の課題であるが、対応策を伺う。

答弁 指導する教員は柔道の有段者となるよう、職員配置を工夫し、安全への配慮をしっかりと行う。

質問 震災後の対応を問う。
①最新の被災地支援と被災者の受け入れ状況は。
②放射能汚染による農家、農畜産物に対する対応は。
③農畜産物の出荷と学校給食への対応は。
④被災地のガレキ処理の受け入れは。

答弁 大槌町に職員1名、2月に釜石の仮説住宅に保健師3名派遣、新年度は釜石市に1年間職員1名派遣する。被災者は52世帯、126名が町内で避難生活をしている。②特に原木シイタケは風評被

旧矢巾中学校跡地の有効利用について継続調査

矢巾中学校建設調査特別委員会

矢巾中学校は、昨年11月30日に校舎が完成し、今年の3学期から全校生徒が新校舎で勉学に励んでいる。

矢巾中学校建設調査特別委員会の役割の一つは、移転場所や学校規模、諸設備等について調査・研究に基づき提言を行い、移転改築工事を計画どおり進めるため、サポートしていくことであった。

もう一つの役割は、矢巾中学校移転後の跡地利用について、十分に検討し提言していくことである。

町からは、矢幅駅西地区の活性化策からも教育施設として活用することが最も望ましいと考えていたところ、学校法人龍澤学館から旧校舎を

用して私立中学校を開校したい旨の申し出を受けたことから、「校舎は無償譲渡し、土地は固定資産税に見合う賃貸料で貸付するのが最善の方法である」とする方針の説明があった。

これに対し、経済効果もあり町の活性化が図られるとして賛成する意見もある一方、3畝もの広さと町の中心部としての立地条件の良さから、町民が気軽に憩える公園などの活用方法について町民の意見を広く募るべきだといった声もある。

委員会では将来にわたって悔いのない有効な活用方法について、さらに慎重な調査を継続していくこととしている。



旧矢巾中学校の跡地と校舎

4度目の入賞 県町村議会広報コンクール



入賞した178号

ありのままを わかりやすく

平成23年度（第30回）岩手県町村議会広報コンクールにおいて、「やはば議会だより」178号（23年10月14日発行）が入選2席になりました。

新メンバーになって2回目の発行での入賞であり、編集委員一同驚いています。

今回の受賞を契機にさらなる研鑽を積み、町民の方々に読みやすく、親しみのある紙面づくりに取り組むべく、決意を新たにしています。

編集委員長 山崎 道夫



喜ぶ議長と編集委員



団体戦表彰式で金メダルを胸にする筆者

第26回ユニバーシアード大会柔道競技で 団体金メダル、個人銀メダルを獲得した

よし だ ゆい と
吉田 惟人 さん (西徳田1区出身)

勝ちよりも負けから

学ぶことの方が大きい

昨年8月、中国深圳で行われたユニバーシアード大会柔道競技の、男子個人66キ級と団体戦に出場する機会を得ました。

今大会では個人戦・団体戦ともに優勝を目指していたので、個人戦の決勝で敗れ準優勝に終わったときは、とても悔しい思いをしました。

団体戦ではチームは優勝したものの、自分の試合は思い通りにいかず、情けなさど歯がゆさでいっぱいでした。

そんな時、「勝ちよりも負けから学ぶことの方がずっと大きい」という父の言葉を思い出し、この結果を前向きに受け止めることができました。

「強くなりたい」その一心から北海道の高校に進学するため矢巾を離れ、はや7年がたちました。

先日7年ぶりに矢巾中学校を訪ねたところ、新しい立派な柔道場で後輩たちが汗を流していました。

私の柔道のルーツである佐和道場では、先生と一緒に汗を流した仲間が迎えてくれました。

矢巾は私にとって、初心に帰り新たな一歩を踏み出す勇氣をもらえるふる里だということを再認識しました。

私は、いつも誰かに支えられ、たくさんの人たちの協力があつて、素晴らしい環境の中で柔道をする事ができています。それは決して当たり前のことではありません。

「常に感謝の気持ちをもつ」そんな柔道家を目指し、いつの日か恩返しできるように、努力していきたいと思っています。

あ と が き

未曾有の大震災から1年が過ぎました。原発事故の影響、がれき処理など課題は山積したままです。一日も早い復興を願わずにはいられません。

議会だよりは今号で180号になり、先日は県の町村議会広報コンクールにおいて入選2席となりました。これは読者ほか関係者の皆様方のご協力の賜物と感謝いたします。

編集作業で、常に第一に考えているのは読者にわかりやすく議会のことを伝えることです。どこまで伝わっているかわかりませんが、今後も精進してまいります。

編集委員

昆 秀一

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

委員 藤原 梅昭